

事例 NO. 9		
事業の種類	道路・街路	
環境配慮の概要	「里山・里地の自然・景観と生活に調和したみちづくり」をコンセプトとしたエコロードとしての整備	
事業名	一般国道375号 東広島・呉自動車道	
事業主体	国土交通省中国地方整備局広島国道事務所	
実施場所	広島県東広島市高屋町大字溝口～広島県呉市阿賀中央5丁目	
実施期間	平成3年～	
事業概要	全体事業費	約190,000百万円
	施工区間等	東広島市高屋町大字溝口～呉市阿賀中央5丁目
	事業の目的・経緯等	地域の経済・産業・文化の発展，都市間の連携・交流の促進などを目的に計画された。当路線の周辺には，豊かな里山里地環境が広がり，多様な生き物たちの生活の場となっていることから，多くの生き物たちと共生する「みちづくり」を始める。
環境配慮の内容	<p>基本方針 次の6つの柱に基づき，事業を実施する。</p> <p>(1) 地域の発展への寄与 (2) 地球環境への負荷の軽減 (3) 自然環境の保全と復元 (4) 生活環境の保全（郷土景観の保全） (5) 循環型社会の形成 (6) 建設維持管理費の縮減</p> <p>工法等 沿線すべてにわたって実施する一般整備メニューは次のとおり。</p> <p>(1) 路肩の植栽木の樹高を保ち，ボックスカルバート，コルゲートパイプ等を整備し，野生動物の移動経路を確保することにより，生きものの生息域の分断防止。 (2) 防止柵の形状や設置場所を工夫し，生きものの車道部への進入防止。 (3) 廃材の発生抑制と資源のリサイクルによる資源の有効活用。 (4) 郷土種を活用した法面の緑化。工事施工場所の植生を保全するため，工事前にシードバンクを採取し，工事後の法面の緑化に用いる。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>シードバンク（埋土種子集団） 土壌に生存している種子の集団のこと。シードバンクを用いた緑化は，植物の再生に有効であるとされている。</p> </div>	
施工後の状況	（整備中）	
留意点等	<ul style="list-style-type: none"> ・エコロードの整備中・整備後において，継続的なモニタリングを実施し，自然環境の保全・創出効果や問題点を明らかにし，整備内容や維持管理の改善に役立てる。 ・道路の使い方や整備のあり方，維持管理，モニタリング等，あらゆる段階で地域とのパートナーシップの確立による「みちそだて」に取り組む。 	

(図面, 写真, 説明)



「この地図は、国土地理院発行の5万分の1地形図を複製し、測量法第29条に基づく複製承認『平10中複, 第98号』を転載したものである。」

【路線図】

自然環境と地域景観を考慮した法面緑化及び樹林化



【地元景観の復元】



【シードバンクの採取状況】

建設発生木材をチップ化し利用した、盛土法面保護対策



【全景】



【拡大】

出典